

ハーモニー

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	24	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1	理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	人格の尊重・感動・笑顔を理念に掲げ、職員会議やカンファレンスで話し合っている。いつまでも入居者が主体的に安心して暮らせるよう、また、全職員が、自分自身が入居したい、家族を入居させたいと思えるような施設を目標とし掲示している。	1	もっと地域住民と交流が深めて行けるような行事を計画の計画と、職員自ら入居したいと自信を持てるような施設にしていきたい。
		2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内に理念を掲示し、自然に目に入るようにしている。また、施設内外の様々な活動を通して、持てる力を発揮できるよう支援している	1	入居者の状況に応じた対応を実施し、必ず笑顔で返答が戻ってくるように心がけている。
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議、夏祭り、クリスマス会などの行事を通して、グループホームの理念や認知症の方を支援していく仕組みなどを理解していただけるよう取り組んでいる。	1	毎月、音楽コンサートを実施し、参加して頂いている。近くに保育園があるのでもっと交流を深めて行きたい。	
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3		
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	道路沿いにパラの花を植え、近所の方が気軽に通行して頂けるようにしている。散歩などに出かける際、すれ違う時には必ず挨拶をしている。また、施設の畑で作業している時などは、近所の方から声を掛けて下さるようになってきた。	1	夏祭り・定期的な音楽会・その他の行事に参加していただけるように、ご案内や声掛けを行っている。
5		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会活動、広報誌の回覧、行事の交流、幼稚園や学校との交流、体験学習の受け入れ、夏祭りの案内や協力依頼等で親しい関係作りを努めている	1	交流を深め、今以上に地域の中に溶け込めるよう取り組んで行きたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 え域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	随時、地域の方も施設見学が出来るようにしている。体験学習を受け入れた後、行事や活動に協力して頂いたりしている。また、地域のイベント等に参加している。	1	近隣のイベントや行事等に参加したり、会議や研修で勉強しているが、取り組みを活発にしていきたい。
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		自己評価5項目・外部評価4項目	5	
	3 理念を実践するための 制度の理解と活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の結果を会議にて報告し、反省点や改善について協議を行い、向上していけるよう取り組んでいる。	1	全職員で自己評価を行った。また、業務の見直しと意識統一のため、毎月テーマを決めて勉強会を行っている。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者様・ご家族様・地域の代表者、学識経験者、地域包括職員へ報告し、質疑応答を通しサービスの向上、改善に努めている。出席者・欠席者には議事録等の資料を送付している。	1	家族の方の色々な意見や各分野の方から助言を頂き、参考・改善に向け対応している。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の職員から講義をして頂いたり連携を図っている。また、運営や介護上の疑問点等を在宅サービス指導係りへ相談したりしている。	1	ネットワークを広げ、情報等を収集できるように努めていきたい。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員や入居者様、ご家族様を対象に、定期的に権利擁護や成年後見制度の勉強会を運営推進会議で実施している。	1	成年後見制度を利用している入居者様へ、必要時に支援を行っている。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議で虐待と思えることは取り上げて、全職員が認識を持って行動が出来るようにしている。	1	勉強会で周知徹底しながら意識向上により虐待防止に努めていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	4		理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	7	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際に、契約書・重要事項説明書を提示し、丁寧に説明しながら疑問点を伺い、納得して頂いた上で契約を行うようにしている。	1	契約時、不安や疑問を残されないよう心掛け、入居後に相談があった場合は即対応している。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員会議やご家族様に相談して解決したり、また、意思を伝え難い方の表情を察することができるよう努力している。家族や関係者の声を拾いサービスの向上に繋げている。	1	何気ない会話の中にも意見や思いがある場合があるので、受け流す事がないように会議等でも話し合っている。
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回手紙として送付している。又、来所される度に報告している。緊急を要するときは電話連絡している。金銭管理については、個人購入された場合領収書・レシートのうらに何を購入されたかを説明書きし、送付するようにしている。	1	開かれた施設を目指し、不明な点や説明が必要な時は再度連絡し納得して頂けるようにしている。
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や推進会議時・面会時に意見や要望を聞くようにしている。また、出された事に対しその都度話し合い解決するようにしている。	1	日頃から、気兼ねなく意見等を言って頂き、運営推進会議等にて報告・対応を説明している。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者はなるべく現場に入り、職員の声を反映できるように職員会議等で話し合っている。また、施設全体の会議にて要望や意見を伝えている。	1	職員が楽しんで仕事をする事で、質の高いサービスが提供できると考えているので、なるべく職員の意見を反映できるように努めている。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご利用者様の状況や状態を把握し、緊急時に対応できるよう情報の共有をしている。勤務については希望休を取り入れながら2ユニット間で協力し合いながら対応している。	1	ご利用者様やご家族様の状況の変化、要望を予測し、速やかに対応できるように会議や申し送りにて話し合っている。ユニット間での連携を常日頃より行っている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理念 ため の実 践制 す	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間での異動であるが、常日頃より情報の共有と互いの連携・協力にて、ご利用者が安心して援助を受けられるような体制をとっている。	1	今後もスタッフの離職がないような職場環境を整えていく。
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	6
	5 人材 の育 成と 支 援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	年齢や取得資格等は重視しておらず、やる気と福祉に対する思いを優先しているため、必ず面接を実施している。	1	まず、法人代表者のみで面接を行い、次に現場の管理者が面談を行っている。お互いが仕事に対する思いを話し合い、経験や趣味活動など仕事をするにあたり發揮していただいている。
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	職員会議や運営推進会議にて勉強会の機会をもち、また、日頃の援助の中で軽率にした対応をしていないか話し合っている。	1	人権に対する思いを忘れる事がないように、定期的に研修の機会を取り入れていく。
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員会議時での勉強会や外部研修など、希望すればできる限り参加出来るように配慮されている。また、研修後は会議にて発表と報告書を閲覧できるようにしている。新人には職員によるマンツーマンでの指導と研修ノートの活用による育成を実施。	1	全職員が質の向上の意識を持って働いていけるよう努めている。
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	様々な研修にて各職員が同業者との交流を深め、意見交換や勉強会を行っている。	1	他施設を訪問したり電話連絡にて情報交換・相談し合い、質の向上に努めている。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	定期的に話し合いの場や食事会の場を設けて、何でも話せる雰囲気作りに努めている。	1	一人で悩みを抱え込む事のないように、個別に声掛けたり、会議に参加しながら意見を聞いたり配慮している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	積極的に研修を受ける機会を設け、職員からどのような研修を受けたいか聞きながら配慮している。	1	各委員会があり、責任を持って取り組んでいる。必ず会議等や申し送りにて連絡報告をし、意識の向上に努めている。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	10	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	4	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時、本人やご家族様が困っている事、不安に思っている事等、話しやすいように配慮しながら時間をかけて対応している。また、表情や動作、雰囲気から察知できるよう努めている。	1	いつでも気軽に対応できるよう努めている。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回見学時より、本人やご家族様が困っている事、不安に思っている事等、話しやすいように配慮しながら時間をかけて対応している。また、表情や動作、雰囲気から察知できるよう努めている。また、時間をかけ納得されるように噛み砕きながら説明し、対応している。	1	親しみを持って頂けるような雰囲気と、落ち着いて相談ができるような声掛け等に配慮を行っている。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何を必要としているのかじっくりと話を聞き、訴えを汲み取りながら色々なサービス利用の方法を説明し、選択肢が選べるようにしている。	1	様々なサービス事業内容を理解して頂けるように説明している。
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	前もって体験入居していただき、他入居者様との関係や雰囲気に慣れて頂けるように努めている。また、職員もご家族様が不安にならないよう生活状況を連絡したり、話を伺ったりしながら対応している。	1	体験入居も2泊3日でなく、1週間ほどして頂くことで施設の雰囲気に馴染んで頂き、ご家族様に納得して頂けるようにしていく。
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価6項目・外部評価1項目	6	
係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている		入居者様と接する時間を多く作り、色々な話を伺ったり、何をすることも誘いして一緒に楽しみながら作業したりしている。	1	入居者様の細かな変化も職員全員が把握できるように、いつまでも良い関係が維持できるように配慮している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日常生活状況を定期的にご家族へ手紙や来館時の際に伝え、改善点・対応策等を一緒に考えている。また、事前に行事予定を伝え、参加して一緒にひと時を過ごして頂しながら日中の様子を見ていただけるようにしている。	1	ご家族様も行事に参加し、一緒に楽しんで安心できるように配慮している。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様の来館時、本人がもてなす事が出来るよう職員が間に入り支援している。また、行時等にご家族様が参加しやすいような日程を選び、入居者様と楽しいひと時を過ごして頂けるよう配慮している。	1	全てのご家族様が参加出来るように配慮していきたい。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方が来館された場合は、職員が家族という立場になって過ごし易いような雰囲気作りと声掛けを行っている。	1	全職員で取り組んでいる。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が入居者様の間に入り、一色色々な作業やアクティビティを行いながら皆が関われるように配慮している。	1	毎日楽しく支えあえるように声掛けしたり依頼したりしている。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	定期的到手紙や行事等の案内を送付している。	1	手紙や行事等の案内をしている。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	17	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	3	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様に対し担当職員を決め、希望や要望を聞いたり察したのを職員会議の場で提案し、全職員が把握・対応できるようにしている。また、ご家族様に相談しながら試行錯誤している。	1	今以上に全職員が、入居者様のご希望に添えるよう工夫・努力していく。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の面接や、入居後の日上会話・ご家族様との会話で情報を収集し、入居者様が毎日楽しく生き生きと過ごして頂けるよう、本人に沿った環境づくりをしている。	1	今後も一人ひとりの情報を把握し、より良い生活環境づくりに努めていく。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員間による申し送り・伝達ノート・介護記録、職員会議や運営推進会議での話し合いにて把握している。	1	今以上、ご家族様との連携と理解を深めて把握していく。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価 18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族様からのご意見を踏まえ、会議の場にてカンファレンスを行い、意見やアイデアが組み込まれるよう工夫している。	1	今以上に職員が自己研鑽し、様々な方面から見れると共に意見やアイデアが出せるようにしていきたい。
		39 外部評価 19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直し必要時、ご家族様に来館していただき、入居者様・ご家族様・職員との話し合いの場を設け希望や意見を出していただいている。	1	緊急を要する場合等での計画変更が出来るようにしている。
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りや伝達ノートと個別記録にて、全職員の情報共有と連携を取りながら実施している。	1	職員同士が記入・伝達漏れがないかどうか、お互いに声掛けとチェックを行いながら連携を取っている。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価 1 項目・外部評価 1 項目	1		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価 20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族様や入居者様の要望で、通院や買い物・お墓参り・外泊などの支援も柔軟に対応している。また、併設の事業施設との連携により入居者様のニーズに応じたサービスの提供に努めている。	1	併設施設職員へ相談したり協力を仰いだりしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	10	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的にボランティアにより慰問・音楽会の開催、また、避難訓練に消防署の協力を仰いだり、学校からの体験学習も受け入れて協力や交流を深めている。	1	多方面の機関ともお互いに協力しあえるよう努めて行きたい。
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者様やご家族様の意向に応じて、施設のケアマネージャーと連携をとりサービスの選択ができるようにしている。また、訪問歯科・クリーニング等の利用ができるように支援している。	1	入居者様が、今以上、気兼ねなく安心して過ごせるように配慮していく。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	定期的に運営推進会議へ参加して頂き、入居者様やご家族様も含め、必要な情報の交換を行っている。	1	介護に関すること以外でも、ざっくばらんに話し協働できるように努めたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者様やご家族様の意向を大切にしながら、希望する病院が受診できるように支援している。また、かかりつけ医には、毎月、定期的に訪問診療や緊急時の往診で対応して頂き、受診結果の報告・相談など、ご家族様と連絡を密にし支援している。	1	ご家族様・主治医と相談しながら、しかるべき専門科への受診・往診ができるように努めている。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	日常生活の状態を把握しながら主治医に相談し、必要に応じて認知症専門医の協力体制が整っている。	1	各職員が認知症に対する理解を深め対応できるように、また、ご入居者様が適切な診断・治療を受けられるように話し合い、主治医やご家族様と連絡に努めている。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	申し送りや伝達ノートと個別記録にて情報共有と連携を取りながら、看護職員や併設の看護職員の協力を仰ぎ対応している。	1	日頃より健康管理に気をつけ、異常を早期に発見し、早い段階で治療を受けられるように努めている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	本人がより良く暮らし続けるための地域の資源との協働	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的に全職員が交代でお見舞いに行き、病院看護師より状態確認・把握し、情報を共有している。また、退院時の受け入れ態勢を話し合い準備を整えている。ご入所者様の状態によっては病院より指導して頂いている。	1	職員会議等を通して、情報を共有し対応できるように努めている。
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期対応の指針は、推進会議時等で説明。定期的に職員会議にて各入居者の問題点や家族の意向を考慮しながら対応策の話し合いを重ね、ご家族様の意向を確認しながら医師との連携を図っている。	1	対応の決定事項やムンテラの内容など文章化し、会議等にて情報共有を確認しながら対応できるように努めている。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師や介護職員とご家族様、複数の看護職員の協力により、施設内でできる事を決定し、身内に近い介護を行うことによりよりよい日々を送って頂けるよう努めている。	1	職員会議にて各入居者の問題点や家族の意向、主治医の意見など協議し対応策を検討している。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	早急な住み替えは避け、情報交換や話し合いを行いながら本人のダメージが最小限に抑えられるように努めている。本人の意向や納得が前提。	1	スムーズに移行できるように他施設職員、ご家族様、入居者様を交え話し合いの場を持つように努めている。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	38	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	30		
	1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3		
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法を厳守して、マニュアルや研修等を通して安心して日常を送れる様配慮している。	1	定期的に研修の参加や施設内での勉強会を通し、常日頃から職員全員で心掛けている。
	53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者様一人ひとりに合わせ、自ら決めて頂けるような選択肢の声掛けを行い、また、納得して頂けるように支援している。	1	各入居者様に合わせ、理解・納得して頂けるように噛み砕いた説明を心掛けている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の希望に添えるよう一人ひとりを大切に支援している。	1	入居者様のペースに合わせ、職員も一緒に共感しながら楽しめるよう対応している。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居者様やご家族様が希望される場合は、施設の方で予約確認しながら対応している。	1	定期的に職員が配慮しながら声掛けし、対応している。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と職員が同じフロア内で楽しく会話しながら準備を行ったり、身内の一員として活躍して頂けるように配慮しながら対応している。	1	定期的な給食会議の開催にて、入所者様の嗜好調査や毎食時の検食アンケートを踏まえ、食事の質の向上に努めている
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	定期的な買い物ツアーや訪問販売等を利用しながら、入居者様自身が選び、購入できるような場を設けている。	1	定期的以外にも入居者様から意見や希望が出れば、即座に個別に対応できるよう努めている。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用し、定期的に声掛けや誘導・援助を行っている。	1	排泄パターンを把握しながら、出来るだけ日中は布パンで過ごして頂けるように支援している。
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本は毎日としており、気持ちよく一人ひとりに合ったペースで入浴して頂いている。時には大浴場での入浴やバラ風呂や菖蒲湯など工夫しながら楽しんでいただいている。	1	清潔を保つため、体調に合わせ入浴して頂いている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1日の生活リズムを作り、個人に合わせて昼寝を取り入れている。夜間覚醒が多い方には、日中の活動など積極的に取り入れて生活のリズムを整えるように工夫している。	1	本人の体調を把握した上で、声掛け・誘導を行いながら支援している。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者様に合った作業・役割り・好み等を配慮しながら洗濯物たたみ、調理、配膳、水撒き等をして頂き、少しでも張り合いや気分転換ができるように支援している。	1	趣味などを取り入れていくようにしている。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	アクティビティにて買い物ツアーを取り入れ、支払いなど極力入居者様にして頂くようにしている。	1	買い物など計画して出掛けている。
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月1、2回アクティビティにて買い物ツアーやドライブを取り入れている。外食ツアーや天気の良い日などは散歩等で気分転換して頂いたり、中庭や畑へお連れしたりしながら支援している。	1	暖かくなってきたら、なるべく外気に触れて頂けるような時間を作って行きたい。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族が参加出来る行事を取り入れている。食事会や日帰り旅行など。	1	家族と入居者様が一緒に外出できる機会を増やしていく。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人に電話や季節の手紙など、書いて頂けるよう支援している。	1	必要時、電話をして季節の手紙など書いて頂いている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	いつでも訪問できるように、面会時間を設けていない。	1	必ず挨拶、笑顔、声掛けと入居者様の近況状況報告を行い、気軽に来て頂けるような雰囲気作りに努めている。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	8	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議や研修等で話し合い、学び、身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。	1	拘束は行わない方針で全職員理解しているが、時と場合によってはご家族様への報告と同意を得て拘束せざるを得ない場合がある。	
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は日中・夜間とも施錠せず、玄関はチャイム音で出入りが分かるようにしている。夜間以外施錠していない。	1	常に把握・声掛けを行い、所在確認を常に意識している。徘徊、帰宅願望の強い方は、一緒に散歩したり気分転換できるように対応している。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮し、常に入居者様の状態確認と所在確認を行い、声掛けを徹底している。	1	安全安心して過ごして頂けるように、常に職員の連携と声掛けによる把握を徹底している。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	物品の配置と把握を行いながら対応している。必要に応じては施錠管理をしている。	1	職員会議にて話し合い、全職員が対応できるようにしている。	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	入居者様の状況や注意点をリスト化し、事故防止に努めている。	1	ヒヤリハットを活用し、事故の予測・予防を把握しながら対応している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の救命救急講習（ADLの使用・心肺蘇生法）を全職員が受けている。また、マニュアルを作成し電話近くに設置している。	1	勉強会を開き、看護職員に指導を受けている。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署に協力を仰ぎながら、年2回（うち1回は入居者様も含めて）避難訓練・呼集訓練を実施している。	1	地域住民の方も巻き込んで訓練が出来るようにしていく。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	運営推進会議時・面会時・電話連絡時等で状況や対応を説明し、共通理解に努めている。	1	全職員が共通認識し、ご家族の来館時・電話等で常に声掛け・状況説明を行っている。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	7	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い状況観察している。異常と思われる際には、かかりつけ医に連絡を取り対応している。	1	日頃から状態把握しているので、異常が見られた時は迅即に対応している。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期的に服薬している薬状を記録用紙に添付しているので、誰が見ても確認できる。また、誤薬等を防ぐために表を作成し、服薬者の責任の所在を明らかにしている。	1	入居者様の服薬状況に合わせた対応を行っており、誤薬が無いよう職員間同士で確認し合い、服薬介助するようにしている。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し、水分摂取の調整・腹部マッサージ等を行い、必要時には主治医と連絡を取り服薬管理を行っている。	1	申し送りやチェック表を活用し、職員間同士が把握して対応している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを実施しており、必要に応じて訪問歯科を導入している。	1	口腔ケアの徹底に努めている。	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事内容や栄養面は栄養士が計画し、食事摂取量や水分摂取量は職員がチェック表を活用して把握・対応している。また、入居者様の摂取状況や能力に応じ食事形態を変更したり、スプーンやフォークなど使用して食べ易いように工夫している。	1	入居者様の状況を把握して、その都度対応している。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	定時と外出後はうがい・手洗いの徹底を行っている。毎年入居者様と全職員の予防接種を行っており、面会者へのうがい・手洗いとマスク着用をお願いしている。冬季にはフロアー内と全入居者様の各部屋に加湿器を置いて乾燥予防に努めている。	1	定期的に研修の参加や勉強会の場を開き、話し合いを行いながら予防に対する職員の意識向上に努めている。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日台所用品の消毒と、定期的に冷蔵庫内の整理整頓を実施し、清潔に保てるようにしている。	1	定期的に研修の参加や勉強会の場を開き、話し合いを行いながら予防に対する職員の意識向上に努めている。	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	8	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	5	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	通り沿いにはバラを植え、定期的に掃除を行いながら清潔に努めている。また、玄関にはスロープを設け近隣住民と親しみが持てるような声掛けに努めている。	1	季節ごとに飾り付けを行い楽しんでいただけるように努めている。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食卓に季節の花などを飾り、壁などには入居者様の作品や写真を掲示したり、フロアーの窓から中庭の季節に咲く花々と明るい日差しが楽しむことができる。	1	排泄後の消臭や清掃には特に気をつけている。	
		外部評価 32					

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア内の座席やソファの位置を工夫しながら、自由に座っていただけるように心掛けたり、気の合う入居者様同士が寄り添えるように配慮している。	1	状況や心境を察知しながら、気の合う入居者様同士が同じテーブルに座り楽しく過ごせるように、席替えや居心地の良い空間作りに努めている。	
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の使い慣れた物をなるべく持ってきて頂いたり、希望に応じて趣味や好みの物を装飾して頂いているため、個性豊かな個室となっている。	1	身体機能に合わせ、自立して活動しやすい居室となるように配慮している。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室・フロア内は24時間換気と加湿器やエアコンによる温度調整や、定期的な窓を開けての換気に努めている。	1	病人がいる場合などは、特に気をつけて対応している。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	3	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様個人に合わせ、残存機能をできるだけ使って頂き、自立した生活が送れるよう援助している。また、居室内の配置など、安心して動けるように入居者様・ご家族様と相談しながら対応している。	1	入居者様個々の身体機能に応じた住環境の整備を整えていきたい。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	それぞれの入居者様に応じた適切な声かけ・援助を行っている。	1	会議や伝達ノートの活用を用いて、情報の共有と話し合いを行いながら各入居者様対応を模索しながら自立した生活が送れるように努めている。	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	施設周辺や中庭へ出かけ、季節の花々を摘んで施設内のテーブルに飾ったり、川の鯉に餌をあげたりと、外気に触れる機会を設けながら生きがいづくりに努めている。	1	自然に触れ、季節を感じて頂けるように援助を行っている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。